

開催月日 : 平成 29年 9月 25日

平成29年度第2回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

時間	am/pm 10:00	am/pm 11:00	場所	かんだ連雀B2会議室
司会	浅見 達也		書記	尾崎 正紀
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係：●●●●様、●●●●様			
	○千代田区社会福祉協議会：●●●●●様			
	○千代田区高齢者あんしんセンター：川島典子様(神田地区)			
	○千代田区かがやきプラザ：常川知美様			
	○医療機関：●●●●様(三楽病院)			
	●●●●様(アクア訪問看護ステーション・連携)			
	○知見を有する者：●●●●様、●●●●●様、●●●●●様、●●●●●様、●●●●●様			
	○地域住民の代表者：●●●●●様、●●●●●様			
	○指定事業者			
	かんだ連雀いつでもサポートサービス：峯俊美、浅見達也、尾崎正紀			
会議内容	① 開会の挨拶			
	かんだ連雀：峯俊美			
	② 取り組み事例発表			
	かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎正紀			
	③ ご出席者皆様よりご意見・講評			
詳細	④ 閉会の挨拶			
	かんだ連雀：峯俊美			
	② 取り組み事例発表			
● 定期的な入浴をしてもらうための取り組み				
習慣としていた銭湯通いが困難になった利用者に対して、自宅入浴ができるようになる				
までどのように取り組みを行なったかを発表				

詳 細
① 開会の挨拶
かんだ連雀：峯俊美
○今回は、定期巡回とはどんなことが出来るサービスか？ どのような工夫を行なっているのかを発表させていただきます。支援するご利用者の立場からみたサービスとは何か、社会福祉法人の理念にもあります通り、ご本人とその家族を含めた環境がよりよくなるには、こういった取り組みを行えばよいのかを考察してまいりますので宜しくお願い致します。
② 取り組み事例発表
かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎正紀
○定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス介入までの経緯、サービス当初の援助内容を説明。銭湯に通えなくなった時間の流れと、自宅での入浴が可能になった過程を資料をもとに報告する。
③ ご出席者皆様よりご意見・講評
●●●●●様：医療機関・連携
○繰り返し援助をして頂くには顔を覚えていないといけないと思うが、入るヘルパーは何名？ (→かんだ連雀 浅見) 現在在籍している9名全てが援助に入っています。固定メンバーが入ってしまうと同じ情報しか引き出せなくなってしまう恐れがあります。連雀では全ての利用者に対して同じ対応を実施しています。
●上宇都紗香様：知見を有する者
○人の名前を覚えられない。男性は嫌い。年上の方も苦手。と当初ご本人からの要望は多かったが、ヘルパーの顔写真を自宅に届けていたので、サービス開始以来大きな混乱もなく援助が行えている。掃除や洗濯がだんだんできなくなってきている状況があった。デイサービスの導入も検討していたが、娘様によりガスの開栓があり、ご自宅でも入浴を行える環境が整ったタイミングとも重なったこともあり自宅入浴を試みることになった。週1回の入浴から始め今では自宅入浴が当たり前になったことは、ご本人にとってとてもよいことだと思う。デイサービスをすぐに始めていたら今の形にはなっていなかったはず。 (→かんだ連雀 浅見) これで終わりではなく、いかに継続していくかが課題になると思います。これからできなくなることが増えてきた時にどのように係っていくかを模索していかなければなりません。
●●●●●様：地域住民の代表者
○うちの町会にも認知症の進行度の高い方がいて、一日に4度も5度も着替えられていたり、今まで出来ていたアイロン・ビーズができなくなったことを訴えられるのをみると対応に困ってしまう。そういった問いかけにはどう応えていけばいいのか。
●●●●●様：地域住民の代表者
○同じ町会でも、以前からお付き合いのある方なら状態の変化はすぐに理解できるが、マンション住ま

<p>いで新しく入居された方などは馴染みがないため、お困りでも訪問すらできていない。 (→かんだ連雀 浅見) お困りの事があった場合は、地域包括へまずはご一報ください。</p>
<p>●常川知美様：千代田区かがやきプラザ</p> <p>○段階的な援助で始めていき、試行錯誤していく中で援助(手助けする)内容が少なくなっていくのは、定期巡回の成果であると思う。またそれを維持していただけても成果であるが、残念ながら関わった人の間にしかそのよさが伝わらない。成果の数値化は行えないか？</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) 利用者それぞれに環境や問題点が異なり、押しなべて数値化するのは大変難しい。 (→かんだ連雀 峯) これまでの成果はあったが、ここから先が大事で、定期巡回から訪問介護に移行できるのか、デイサービス等の利用が可能なのかといった課題への取り組みに向けた道のりがある。</p>
<p>●●●●●様：千代田区社会福祉協議会</p> <p>○手厚い内容だと思う。生活保護の方の場合、生活費の管理も大変だ。自分の経験した事例では生活保護受給者よりも、受給前のぎりぎりのラインで生活されている方が一番つらいと思う。 (→かんだ連雀 浅見) 定期巡回では生活費の管理は行えないので社会福祉協議会にお願いしております。</p>
<p>●川島典子様：千代田区高齢者あんしんセンター</p> <p>○サービスに入る前に、定期巡回向きの利用者かどうか判定を行なっているか？ ケアマネジャーの依頼はそのまま受領されるのか？</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) 定期巡回では、契約前にご自宅へ伺い、訪問調査を実施し状況の確認を行なっています。その後にサービス提供に適しているどうか精査させていただいております。生活の構築が必要となれば定期巡回サービスの導入へ進めます。ご家族の協力があったり、訪問介護で対応できる場合はケアマネジャーと相談し援助形態を検討します。</p>
<p>●●●●●様：千代田区高齢介護課介護事業指定係</p> <p>○娘様はどのような援助をされているのか？</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) 娘様にも福祉援助が入っている。共依存の家族関係にあり、ある程度のスタンスを持って接している様子が伺えます。娘様は、定期巡回の援助が入っている事を理解されています。</p>
<p>●●●●●様：千代田区高齢介護課介護事業指定係</p> <p>○これから先、2025年には「団塊の世代」の方々に介護が必要になると予想されており、認知症高齢者も増加していくものと思われる。介護人材の不足が懸念されているが、今回の事例で紹介されたように独居で認知症状がある方の生活を支えている定期巡回は、今後さらに重要度を増していく。 連携推進会議以外の場でも広く、「定期巡回サービス」の紹介をして頂きたい。</p>
<p>④ 閉会の挨拶</p> <p>かんだ連雀：峯俊美</p> <p>○問題点をもとに、どのような取り組みを行なっているかという発表は何度か行い、皆様にも定期巡回の援助内容は十分浸透してきたと思います。今後は今までとは違う切り口で発表していく所存です。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

